

丸田たかあき

後援会たより

五島市中央町7番地25
丸田たかあき後援会

会長 松本 勝久

☎ 090・2080・8438

市長は、将来人口を1万3千人と予測しています。

それを頑張って2万人に食い止めると言っています。

市議は、今の人口3万7千人が、毎年1000人ずつ減っていると言っています。

冗談ではない！

奈留町、久賀町、岐宿町、三井楽町、玉之浦町、旧福江市などすべて合わせての話です。

(五島市は有人の島11と無人の島51から成り立っているのです。)

今でさえ、分散化して寂寥感に覆いつくされているのに、人口1万3千人で、この町はどうなるのでしょうか？

市長も、市議の皆さん、とても真剣に町のことを考えているとは思えません。危機感が感じられないのです。

街の願い、声に耳を傾けず、街の活性化に反対する政治をする市長、それを止めない町のみんなが市議。

五島市の人口

13,000人

市長は2000人にとっているけれども

生き残れるのか！

そこから、1万3千人の市へ落ち込んでいく、それを脱する道はありません。

想像してください。

人口が一定の規模を越えて減少すると(私たちは、3万人程度と考えています)、

- ・大規模商店や事業所が撤退します。
- ・病院が存立しなくなるでしょう。
- ・小学校や中学校が統廃合され、子供たちの通学は？どうなるのでしょうか。
- ・おそらく高校はなくなり、中学校を卒業して、島外へ。

島を去る余力のある人は島外へ、余力のない人だけが島に残る。

そうなってしまうたら、五島市に未来はありません。

それでは、五島市に未来を切り開く道はないのか？

市民の皆さんと、話し合っていく

中で、その道は見えてきます。

五島市で働く人々のなかに、解決への道筋が、確かにあるのです。

そういう市民の活力を生かし、育てていく、市民の声を聞き、市長や市議が率先して行動する以外に、再生の道はないのです。

丸田 たかあきは、

街の現状を直視し、街づくりの基本に立ち返って、皆さんと共に頑張ります。

町の人たちの考えをお聞きし、それを市政に反映します。

市民の力を掘り起こし、市政と結び、五島市の活性化を実現します。

